

令和5年度事業

教 育 に 関 す る 事 務 の 管 理 及 び
執 行 状 況 の 点 検 ・ 評 価 報 告 書

令 和 6 年 1 0 月

隠岐の島町教育委員会

1. 点検・評価の趣旨等について

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項に基づき、教育委員会の権限に属する令和5年度の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するところです。

(2) 点検・評価の対象

今回の点検・評価は、令和5年度の教育委員会の活動状況及び教育委員会の主要な事業に係るものです。

(3) 点検・評価の方法

教育委員会の活動状況及び教育行政に係る主要な事業について、所管する課及び公民館等が点検・評価を行うとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、隠岐の島町教育委員会事務評価委員会の評価を踏まえ、総合的に点検・評価した報告書を作成しました。

○ 隠岐の島町教育委員会事務評価委員会

委員長 齋藤 尚文

副委員長 池田 茂良

委員 小川 静香

委員 金田 洋二郎

委員 木村 芳宣

○ 事務評価委員会の開催状況

令和6年 8月 2日

令和6年 8月23日

令和6年 8月30日

2. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の会議の開催状況

令和5年 4月24日 定例会

隠岐の島町社会教育委員の委嘱について

隠岐の島町屋内温水プール管理運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町公民館運営審議会委員の委嘱について

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

教育財産〔生徒用机・椅子〕の取得の申出について

教育財産〔プールフロア〕の取得の申出について

令和5年 5月26日 定例会

令和4年度隠岐の島町一般会計繰越明許費繰越計算書について

令和4年度隠岐の島町一般会計補正予算(第8号)に関する意見について

西郷中学校受電設備更新・特別教室空調整備工事請負契約の締結に関する意見について

西郷南中学校受電設備改修・特別教室空調整備工事請負契約の締結に関する意見について

29人乗りスクールバス購入契約の締結に関する意見について

令和5年度教育行政の方針について

隠岐の島町立小中学校LED化工事の計画について

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

令和5年度隠岐の島町一般会計補正予算(第2号)について

令和5年 6月30日 定例会

隠岐の島町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関する規則の一部改正について

令和5年 7月26日 定例会

教育財産〔大型提示装置等〕の取得の申出について

令和5年 8月25日 定例会

国民スポーツ大会相撲競技開催支援事業補助金交付要綱の制定について

隠岐の島町図書館運営委員会委員の解職について

令和5年度隠岐の島町一般会計補正予算(第4号)について

令和5年 9月25日 定例会

小中学校大型提示装置購入契約の締結に関する意見について

令和5年10月27日 定例会

令和4年度事業教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について

令和5年12月 1日 定例会

小学校教職員パソコン購入契約の締結に関する意見について

令和5年度隠岐の島町一般会計補正予算(第6号)について

令和5年12月26日 定例会

隠岐の島町離島留学学生寮建設(建築第1期)工事請負契約に関する意見について

隠岐の島町がんばれ島のキッズ島外遠征事業補助金交付要綱の一部改正について

隠岐の島町離島留学学生寮建設(電気)工事の計画について

都万目の民家保存修理工事の計画について

令和6年 1月24日 定例会

隠岐の島町教育委員会教育長職務代理者の指名について

令和5年度隠岐の島町一般会計補正予算(第8号)について

隠岐の島町入学準備支援事業実施要綱の制定について

令和6年 2月 6日 臨時会

県費負担教職員の人事の内申について

令和6年 2月29日 定例会

隠岐の島町学校給食費等の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

隠岐国駅鈴を介した歴史文化交流事業補助金交付要綱の制定について

隠岐の島町離島留学学生寮建設工事の計画について

都万目の民家保存修理工事請負契約の締結に関する意見について

令和5年度隠岐の島町一般会計補正予算(第9号)について

令和6年度隠岐の島町一般会計当初予算について

令和6年 3月27日 定例会

隠岐の島町立学校における独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付に係る共済掛金に関する規則の制定について

隠岐の島町スクールトレーナー及び運動器健康指導医設置要綱の制定について

隠岐の島町教育委員会後援等に関する事務取扱要綱の制定について

隠岐の島町外国青年人事評価要領の制定について

教育財産〔スクールバス〕の取得の申出について

西郷南中学校大規模改修工事(1期工事)の計画について

隠岐の島町立学校の学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について

隠岐の島町社会教育委員の委嘱について

隠岐の島町文化財保護審議会委員の委嘱について

隠岐の島町スポーツ推進審議会委員の任命について

隠岐の島町立隠岐の島町屋内温水プール管理運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町立隠岐の島町図書館運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町総合体育館管理運営委員会委員について

隠岐の島町スポーツ推進委員の委嘱について

隠岐の島町公民館運営審議会委員の委嘱について

(2) 総合教育会議の開催状況

令和5年 8月 4日

小中学校規模適正化(北小学校)について

令和5年10月13日

小中学校規模適正化について

(3) 教育委員会の会議以外の活動状況

令和5年10月27日

隠岐養護学校訪問

授業見学・学校説明・意見交換

学校給食試食

令和5年度事業 教育委員会の主要な事業の点検・評価

番号	事業名	予算科目	担 当
1	学力向上対策事業（授業づくり研究会）	教育指導費	総務学校教育課
2	学校図書充実事業	教育指導費	総務学校教育課
3	英語指導事業	教育指導費	総務学校教育課
4	特別支援教育事業	教育指導費	総務学校教育課
5	高校魅力化事業	教育指導費	総務学校教育課
6	魅力ある教育推進事業	教育指導費	総務学校教育課
7	大型提示装置等整備事業	教育指導費	総務学校教育課
8	離島留学学生寮整備事業	教育指導費	総務学校教育課
9	小学校教材整備等教育振興事業	小学校費 教育指導費	総務学校教育課
10	小学校施設整備事業	小学校費 学校管理費	総務学校教育課
11	中学校教材整備等教育振興事業	中学校費 教育指導費	総務学校教育課
12	中学校施設整備事業	中学校費 学校管理費	総務学校教育課
13	西郷南中学校大規模改修事業	中学校費 学校施設費	総務学校教育課
14	学校給食調理事業	学校給食費	学校給食センター
15	がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業	社会教育総務費	社会教育課
16	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業	社会教育総務費	社会教育課
17	隠岐島文化会館管理運営事業	社会教育施設費	社会教育課
18	保健体育活動補助事業	保健体育総務費	社会教育課
19	総合運動公園管理運営事業	体育施設費	社会教育課
20	温水プール管理運営事業	体育施設費	社会教育課
21	図書館管理運営事業	社会教育施設費	社会教育課
22	文化財保存継承事業	文化財保護費	社会教育課
23	佐々木家住宅管理運営事業	文化財保護費	社会教育課
24	公民館活動振興事業	社会教育費 公民館費	中央公民館
25	公民館活動振興事業	社会教育費 公民館費	布施公民館
26	公民館活動振興事業	社会教育費 公民館費	五箇公民館
27	公民館活動振興事業	社会教育費 公民館費	都万公民館

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名	学力向上対策事業（授業づくり研究会）					総務学校教育課	
予算額	7,491	決算額	7,436	財 源 内 訳			
				特定財源	3,718	一般財源	3,718

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

子ども達の学ぶ力向上のためにICTが生かされているかどうかを検証するためには、学ぶ力向上のために準備・提供された授業がよりよいものであることが必要となります。

本事業は、ICTは学ぶ力向上を目指した授業のなかで教師が、また児童生徒が学びを作り出し、掴み取っていく際に活用される手立てであるという考えのもと「授業作り研究会」を立ち上げ、授業改善に生かしていくことを目的としています。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●授業づくり研究会経費 7,436 千円



(授業視察)



(研究会)



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

各学校から研究員を選出し、東京学芸大学から各自治体で同事業の講師をしている教授と事業関係者による授業視察及び授業後のカンファレンス、ICT教育に関する定例研究会を行いました。

授業後のカンファレンスでは、各授業者の考え方を聞くなど他の先生との情報共有や授業を見つめ直し授業改善のきっかけとなりました。評価として、「ICTを有効活用できる場面が理解でき積極的に活用したい」、「ICTばかりに頼らない授業改善も必要である」など、授業者からはいろいろな視点からの指摘があり、今後の授業改善の参考としたいとの声がありました。

研究会では、各学校における端末の活用方法や課題等について話し合うなど、今後のICT教育の底上げにつながる議論がなされ、ICT教育の推進を図ることができました。

(2) 今後の課題

ICT教育に苦手意識がある教職員もおられるため、授業づくり研究で学んだことを活かしながら、授業支援に有効なアプリの検証やICT活用に関する研修会を実施したいと考えています。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名		学力向上対策事業（授業づくり研究会）				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 （1）評価の概要 ○ICT教育を推進する環境が整っていることにまず評価をする。加えて、令和5年度は授業づくりの中で、ICT教育に苦手意識のある教員をサポートするため、講師を派遣して研修会を開催するなど、ICT教育を更に加速させる取組もあり、今後に期待したい。 ○動画を観てお終いではなく、必要に応じてICTを活用した授業を展開していくことを目的としていることを評価する。 ○ICTを活用した授業改善の取り組みが進められ、教員のICTスキル向上が課題となっている。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○各校単独での研修の積み重ねはもちろんだが、研究員を選出しその内容を各校に持ち帰る形の研修会を重ねられることで、隠岐全域でICT教育の底上げが期待できる。さらなる研修内容の充実と当研究会の継続を望む。 ○未だ時期によって感染が流行するコロナウイルスに感染して長期欠席せざるを得ない生徒がオンラインで授業を受けれるような仕組み作りも必要だと思う。 ○ICT教育の推進にあたっては、1人1台端末の整備によって、児童・生徒が依存に繋がることが無いよう、ICTをうまく活用し、頼りすぎず、1つのツールとして利用することを望む。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名	学校図書充実事業					総務学校教育課	
予算額	28,367	決算額	27,959	財 源 内 訳			
				特定財源	9,633	一般財源	18,326
【1. 事業の目的】 (単位：千円)							
学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を充実させ、児童生徒の豊かな心を育むための読書活動の推進と、学ぶ力に繋がる情報活用能力の育成を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
● 学校司書雇用費（11校）				25,123	千円		
● 図書・備品購入費				2,503	千円		
● 総合百科事典更新（中学校2校）				264	千円		
● 活動費				69	千円		
							
(総合百科事典展示風景)				(おすすめ図書展示風景)			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
学校司書の全校配置を継続しています。図書館に学校司書がいることで子どもたちの居場所として大きな役割を果たしています。学校司書の資質向上をめざし、定期的に連絡会を開催し、研修及び情報交換を行っています。学校司書が選書についてアドバイスしたり、正確性や利用価値が低下した図書を廃棄したり等、図書館資料を適切に整備しています。総合百科事典『ポプラディア』の改訂があったため、昨年度より改訂図書の配備を行い、今年度で全校改訂図書の配備を完了し、子どもたちが正しい情報の利活用を出来る図書資料をそろえることが出来ました。また、子ども用新聞の配備を行い、子どもたちの社会への興味関心や知的好奇心を高めることへつながりました。教科書の単元に沿ったテーマの関連本をそろえることで、より深い学習につなげることができました。							
(2) 今後の課題							
図書館を活用した授業時数も増加傾向にあり、これまで以上に授業者・司書教諭・学校司書の連携の円滑化や、適正な役割分担が求められています。隠岐の島町図書館等の関係機関との連携を強化し、読書活動推進の取組を進めていく必要があります。							
タブレット端末の活用が進んできており、学校図書館の活用頻度が減少する恐れがあります。調べ学習等での情報収集の際に、紙かインターネット検索かの二者択一に陥らず、状況に応じて適正な情報メディアを選択できるよう、児童生徒の情報活用能力を育成する必要があります。そのためには、担任・司書教諭・学校司書と連携し、学校図書館資料を有効活用するよう取組を推進することが重要です。また、紙媒体の資料についても、図書のみではなく、新聞をはじめとした多様な資料を配備していくことが求められています。							
学校司書の意欲や専門性を高めるため、継続的な雇用について検討する必要があります。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名		学校図書充実事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○学校司書の配置により図書館機能が充実し、児童生徒の読書環境を向上させている。また、居場所づくりにもなっている。 ○タブレット端末の活用が進むことで図書館の活用頻度が減少する恐れがある。 ○子ども用新聞の配備を行うなど、子どもたちの社会への興味関心や知的好奇心を高めることへつなげる取組をしていることを評価する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○学校図書館としての機能や雰囲気づくり、また、子どもの居場所づくりにおいても、学校司書の継続配置は大いに評価できる。 ○調べ学習においてはネット活用（AIも含め）も大切な技能のひとつだが、書物を活用したり人に尋ねたり、と、発達段階に応じた情報収集もしっかり身に着けられるよう、司書と教員との連携のもと、授業での図書館活用を推進していただきたい。 ○紙媒体とタブレット端末ををバランスよく使用して欲しいが今後はタブレット使用が主となると思う。 ○学校司書の全校配置により居場所のひとつになっているということは評価できる。創造力を高めていくことと読書は、とても大きな役割をもっていると思う。今後とも、ICTに偏ることなく、活字にふれる機会を増やしていく工夫が必要である。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名	英語指導事業					総務学校教育課	
予算額	14,518	決算額	14,068	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	14,068
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 外国語指導助手（A L T）を各小・中学校へ派遣し、児童生徒の外国語教育充実と国際理解の推進を図ります。 また、英会話教室や保育所訪問等の、地域における国際交流活動への協力を行うことで住民の国際理解を深めていきます。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● A L T雇用費 3名 11,235 千円 ● A L T小中学校派遣経費（移動交通費） 2,833 千円							
  (A L T授業風景)							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 A L Tが授業に参加することで子どもたちが生きた英語を学び、自然な英会話活動を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができました。特に小学校においては、A L Tが授業の補助に入ること、英語免許を持たない教員の負担や不安感を軽減し、円滑な授業運営が図られました。 夏季休業期間中には、希望のあった保育所に1回ずつ訪問し、幼児に英語の歌やあそびを教え、交流しました。ある保育所では、訪問時に教えた英語の歌を発表会で披露するなど、英語に親しみを持ってもらうことが出来ました。 (2) 今後の課題 A L Tの負担軽減を図るとともに、特別支援学級で教える時間を十分確保するため、4名体制の実現に向けて引き続き検討を進めていきます。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名		英語指導事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○A L Tの配置により児童生徒の英語コミュニケーション能力が向上していることを評価する。 ○A L Tの負担軽減と特別支援学級での指導時間の確保が課題であるため検討を要する。 ○ネイティブな英語に触れることで、外国語の授業も受けやすくなっている。効果は大きく、継続をお願いしたい。そのためにも、A L Tの方が気持ちよく働ける環境づくりにも配慮して頂きたい。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○幼い頃から生の英語や海外の文化にふれることのできる体験は貴重である。A L Tにとって負担のない範囲で保育所との交流も継続していただきたい。 ○支援の必要な児童生徒の特性にあわせた英語活動、英語にふれる時間をぜひ確保していただきたい。そのためにも4名体制の早期実現をぜひお願いしたい。 ○子供たちが楽しく英語に触れてる様子を、参観日の日にA L Tの授業を充てるなどして、保護者にも共有する機会を設けてほしい。 ○英語の授業だけでなく、様々な活動にA L Tが関わる中で、語学力のみならず、多様性を育む意味でも、A L Tの存在は大きい。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名	特別支援教育事業					総務学校教育課	
予算額	28,574	決算額	27,897	財 源 内 訳			
				特定財源	55	一般財源	27,842

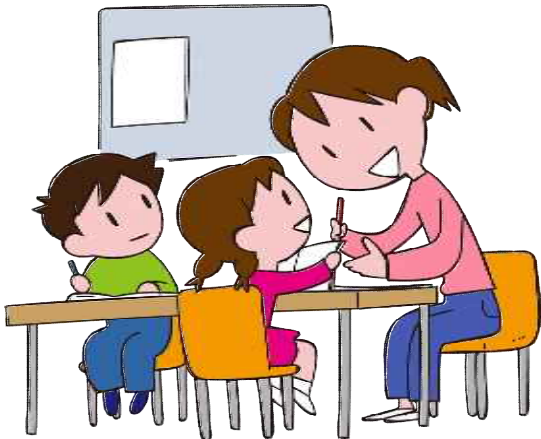
【1. 事業の目的】 (単位：千円)

児童生徒の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに合わせた支援を行うことで、生活や学習上の困難を改善または克服します。

また、医療・教育・保健・福祉の関係部局・関係機関と連携した相談体制を整備し、障がいのある子どもとその保護者に対し、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行います。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 特別な支援のための支援員配置経費 24,848 千円
支援員配置（21名）
- 特別支援教育コーディネーター配置経費 2,804 千円
- 事務費 245 千円
- 隠岐の島町相談支援チーム活動経費（相談件数 61件） 71 千円
- 隠岐教育支援委員会活動経費（相談件数 22件） 174 千円



【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

支援を必要とする児童生徒を支援員が支援することで、当該児童生徒が学級の中で安心して生活し、学習に取り組む姿勢が見られました。

支援員の配置についての評価を行うことで、当該児童生徒への適切な支援について検討する機会を設けることができました。

相談支援チームの相談活動等により、的確な実態把握や適切な支援につなげることができました。

特別支援教育コーディネーターが、保健師や隠岐養護学校と連携しながら保育所訪問等の活動を行うことで、早期の気づきや、保護者・保育士への適切な支援、指導助言を行うことができました。

隠岐教育支援委員会の就学相談活動等により、様々な就学についての指導助言を行うことができました。

（2）今後の課題

相談支援チームや隠岐教育支援委員会への相談件数は年々増えており、保護者や教職員の特別支援教育への理解関心の深まりが見られますが、これに対応するスタッフの人数は限られており、対応に苦慮しています。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名		特別支援教育事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○支援員を配置し、児童生徒の教育的ニーズに合わせた支援を行うことで生活や学習上の困難を改善克服していることを評価する。 ○相談支援チームへの相談件数が増加の傾向にある中で、対応するスタッフが不足していることについては、課題である。 ○多様な相談に対応するため、教員・職員へ支援員活用の仕方について研修会を実施してほしい。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○支援員配置についての評価が適切になされることで、指導者、支援者、また学校全体での当該児童・生徒への関わり方を再考・検討する機会にもつながると考える。よりよい支援の在り方が探れるよう、継続していただきたい。 ○支援員の役割、業務の内容などこまめな発信を重ね人材確保につなげるとともに特別支援教育の理解推進につなげて頂きたい。 ○保（幼）小中高の連携の在り方を今一度見直し、強化する必要がある。 ○相談件数が増える中で、周りの保護者や生徒の理解や関心は重要であり、現場の意見や実状を把握して対応して欲しい。 ○支援員の配置は、支援を必要とする子どもの学習面のみならず、学校生活全般によりよい効果を与えていることを評価する。 ○支援員の質の向上・数の確保、また教員との連携などが今後課題になると思われる。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名	高校魅力化事業					総務学校教育課	
予算額	28,645	決算額	27,013	財 源 内 訳			
				特定財源	22,788	一般財源	4,225

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

少子高齢化、人口減少が進む中、町内の県立高校の存続が本町の人口維持に大きな影響を与えるのは言うまでもなく喫緊の課題です。そのために、学校と地域が連携及び協働した高校の魅力化推進を支援するなど高校の魅力を高め、県外留学生を含めた生徒確保を推進していきます。

【主な事業の概要（実績）】

- 高校魅力化コーディネーター配置経費 8,170 千円
 - コーディネーター 3名 7,791 千円
 - 事務費（研修費、学習会他） 379 千円
- 多世代対話型交流事業事務局員配置経費 1,514 千円
 - 多世代対話型交流事業事務局員 1名 1,514 千円
- 県立高等学校魅力化事業補助金 17,329 千円
 - オープンスクール参加宿泊費補助（生徒64名、保護者60名） 1,232 千円
 - 学習支援補助（Classi利用料 200名） 500 千円
 - 高校寮費等助成事業（対象者101名） 9,176 千円
 - 部活動遠征費補助（2,690円×142名） 382 千円
 - 研修旅行助成事業（隠岐高校、隠岐水産高校） 2,491 千円
 - 高校生の地域留学活動費（地域みらい留学365） 3,438 千円
 - 地域みらい留学負担金 110 千円

◇隠岐高校オープンスクール

◇隠岐高校関西研修旅行



◇隠岐水産高校オープンスクール



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

各県立学校に1名ずつのコーディネーターを配置することにより、地域との協働及び各校連携による魅力化を図りました。また、学習支援補助や部活動遠征費補助等により保護者の負担軽減を図り、寮費助成やオープンスクール参加費の補助による町外生徒の確保に努めることで、隠岐高校26名、水産高校81名の町外生の受入れに寄与しています。なお、令和5年度は令和6年度の地域みらい留学365生の受入募集活動を行い、令和6年度に地域みらい留学365生2名の受入につながりました。

(2) 今後の課題

町内小中学校の児童生徒が減少している中、隠岐高校、隠岐水産高校の生徒数も大きな増加は見込めない状況にあります。島外からの入学者を確保するためにも、コーディネーターが配置された学校の垣根を超えて連携し、魅力を高めるための活動を実施していくことが求められています。また、島内からの入学者については、島外の高校への流出を抑えるため、隠岐高校、隠岐水産高校が身近に感じられるような取組を進めていく必要があります。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名		高校魅力化事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○県立学校3校への魅力コーディネーターの配置により高校の魅力化が進められていることを評価する。 ○高校の魅力を高める取り組みを強化し、島外に向けた広報活動を行うなど、島外からの入学者確保が課題である。 ○島外からの生徒誘致と並行して、島外へ流出する生徒が増加する傾向について目を向け一考したい。町内の生徒・保護者に対して各校の魅力の発信を重ねてほしい。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○離島のスケール感を生かし、様々に「つながり（連携）」ながら教育活動を展開していくことが、それぞれの学校の特色を打ち出すことにもつながるように思う。島外の生徒誘致ももちろんだが、島内の小中学生・保護者にも、魅力（ここで学ぶことの良さや強み）をしっかりとPRしていただきたい。 ○それぞれの学校が持つ魅力または目指す魅力化がうまく発信できているか検証すべきである。学校・PTAが連携するなどして、もっと島内の中学生に積極的にアピールすべきである。 ○入学支援など、魅力化の事業内容自体を見直すべきかもしれない。 ○コーディネーターの取り組みが、どう地域の中に反映させているのか、さらなる情報発信が必要である。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名	魅力ある教育推進事業					総務学校教育課	
予算額	30,444	決算額	29,098	財 源 内 訳			
				特定財源	14,235	一般財源	14,863
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 児童数減少による複式学級の対応として、非常勤講師を配置し、教育の質の向上を目指します。また、学校運営及び児童への教育活動の維持・充実の支援のために、西郷小学校へ非常勤講師を配置する。 ふるさと教育・キャリア教育推進のための移動交通費の支援を行います。 中学校の各種大会参加に係る経費の補助、小中学校の修学旅行費の補助により、児童・生徒の活発な学習活動を支援し保護者の負担軽減を図ります。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●複式教育推進事業 6,680 千円 - 非常勤講師配置経費（2名） ●西郷小学校非常勤講師配置事業 2,093 千円 - 非常勤講師配置経費（2名） ●ふるさと・キャリア教育推進に係る移動交通費 1,473 千円 ●中学校各種大会参加費補助 11,413 千円 ●修学旅行費補助 7,439 千円 - 小学校 修学旅行費 児童 2,419 千円 - 小学校 修学旅行費 引率 175 千円 - 中学校 修学旅行費 生徒 4,553 千円 - 中学校 修学旅行費 引率 292 千円   (修学旅行風景) 【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 複式教育推進事業では、複式学級を編成する学校に非常勤講師を1名ずつ配置することにより、複式学級の授業の充実と児童の学力の向上に貢献することができました。 また、西郷小学校においては、非常勤講師の配置により学校運営及び児童への教育活動の維持・充実を図りました。 積極的に校外学習を実施できるよう、学校からの移動交通費を支援し、地域資源を活用した教育の推進や、講演会等の参加による児童生徒のキャリア観育成を図りました。 中学校各種大会参加費や修学旅行費の補助により、保護者の負担軽減が図られました。 (2) 今後の課題 複式教育推進事業においては、全国的な教職員不足による安定的な人材確保が今後も課題です。 修学旅行費の補助においては、児童生徒数が少ないほど貸切バス費用の個人負担部分が多くなってしまいうため、負担額軽減の対応を検討する必要があります。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名		魅力ある教育推進事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○複式学級へ授業の充実と学力向上が図られ、評価できる。 ○教職員不足の中、安定的な人員確保が課題である。 ○修学旅行の負担軽減を図るため、保護者・学校の意見も参考にしながら、複数校での合同実施等を今後検討してほしい。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○複式学級をもつ学校への非常勤講師の配置は、児童の学びの充実という視点からも、また、教員の負担感の軽減という点においても、大きな意味をもつ。継続しての配置をのぞむ。 そのためにも、島内在住、または転勤者のご家族など、免許保有者の情報を集約し、講師の人材確保をしていく必要がある。 ○修学旅行費については、人数差による格差を解消できるように検討していただきたい。 ○教育全般にいえるが、保護者の負担軽減について充実していくことが必要と考える。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名	大型提示装置等整備事業					総務学校教育課	
予算額	13,924	決算額	12,183	財 源 内 訳			
				特定財源	6,091	一般財源	6,092

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

ICTを有効活用した主体的で個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、タブレット端末等のICT機器を整備します。特に、大型提示装置を導入することで、後ろの席からは見にくい等の問題を解消し、町内外問わずリモートによる合同授業などがより効果的に活用できるよう、ICT教育環境を整備します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 大型提示装置（テレビスタンド含む） 51台 12,183 千円

(大型提示装置・テレビスタンド)

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

令和5年度の大型提示装置の整備により、ICTを活用した授業の支障（後ろの席から見にくい等）を解消し、リモートによる合同授業（県内外および海外の学校）やタブレットと大型提示装置を接続した授業など、ICTの利点を生かした充実した授業づくりに寄与しました。

(2) 今後の課題

タブレット端末の活用状況については学校間で差があります。操作方法等に不安がある教員がICT機器を有効活用できるよう、教職員の活用技術の向上のために研修機会を充実させる必要があります。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名		大型提示装置等整備事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○大型提示装置の整備により I C T活用の授業がしやすくなった。 ○教員の I C T活用スキルの向上が課題である。 ○大型提示装置を整備するにあたり、国の補助金・交付金を活用し導入していることを評価する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○移動が簡易で、児童・生徒のタブレットの内容を全体共有したり拡大したりと、活用の幅が広い大型提示装置が、各校に配置されたことは大きな教育効果を生むと考える。学力向上対策事業と同様に、各学校で活用方法の研修を重ね、教員間のスキルの差をできるだけ埋めていく必要がある。 ○リモート授業など I C T授業を有効活用することを望む。 ○ I C T偏重にならないことを強く望む。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 8
事業名		離島留学学生寮整備事業					
予算額	27,400	決算額	26,047	財 源 内 訳			
				特定財源		一般財源	26,047

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 町外からの入学希望者が増加傾向の隠岐水産高校について、既存の寄宿舎に加え離島留学学生寮を整備することにより町外からの受入を拡大させ、同高校の存続による「未来の海のスペシャリスト」が育つ魅力ある教育環境づくりを支援するとともに定住人口の確保と関係人口の創出を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

● 離島留学学生寮整備事業 26,047 千円

令和4年度より開始した本事業ですが、令和5年度から本格的に建設事業がスタートしました。電気設備工事は令和5・6年度事業として、建築工事は令和5年度には1期工事として杭打ち工事を終わりました。令和6年度からは、機械設備工事及び建築2期工事として本格的に寮本体工事がスタートするもので、令和7年4月の開寮を目指しています。

技術支援業務 0 千円 (1,116千円を次年度に繰越)
 工事監理業務 0 千円 (1,069千円を次年度に繰越)
 支障木伐採業務 1,474 千円
 電気設備工事 0 千円 (65,340千円を次年度に繰越)
 建築第1期工事 24,539 千円
 事務費 34 千円

【規模・仕様等】

建設予定地	隠岐水産高校敷地内(テニスコート横)
構 造	木造瓦葺き2階建て
床 面 積	(1F) 441.02㎡ + (2F) 289.45㎡ = 730.47㎡
間 取	舎室(15)・舎監室・洗面洗濯室・乾燥室 食堂・厨房・浴室・脱衣室・トイレなど
外 部 仕 上	〔屋根〕 瓦 〔外壁〕 サイディング・杉板など
内 部 仕 上	〔床〕 フローリング・ビニルシートなど 〔壁〕 ビニルクロス・杉板など
収 容 人 数	30人




【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 令和7年4月の開寮を目指し、本格的に工事が始まりました。電気設備工事につきましては、キュービクル（受電設備）の製作に時間を要することから早期に発注し、5・6年度にわたり事業を継続します。また、建築第1期工事では杭打ち工事を工程どおり終えることができました。その際、支障となる立木の伐採業務も円滑に実施することが出来ました。

(2) 今後の課題
 引き続き、隠岐水産高校及び工事事業所と連携を密にしながら、令和7年4月の開寮を目指し、適切な工事監理に努めてまいります。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 8
事業名		離島留学学生寮整備事業					
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○交流人口を増やす目的で、町外からの入学生を誘致する取組をしている以上、留学生の住環境を整備することは必須であり、計画的に事業が進められ、遅延がないことを評価する。 ○令和7年4月の開寮を目指して、今後、管理・運営についても関係機関と協議し、整備していく必要がある。 ○町外からの生徒を受入れることによって、島内生徒にとっても良い刺激となり、生徒全体の雰囲気も良く感じられる。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○県立の高校ではあるが、当町に隠岐水産高校があることは町の未来にとっても大きな意味をもつ。県と町が手をとって水産高校の教育活動を支えていくことが、より多くの島留学生を迎えることにつながることに期待する。同様に、隠岐高校の寮についても状態やニーズを把握する必要があるのではないかなと思う。 ○島外からの生徒が学校を選ぶ上で重要とされるのが寮の有無・規模・過ごしやすさと聞きます。計画どおりに進めて継続的に島外からの生徒が入学できる環境づくりを整えてください。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 9
事業名	小学校教材整備等教育振興事業					総務学校教育課	
予算額	13,437	決算額	12,705	財 源 内 訳			
				特定財源	535	一般財源	12,170
【1. 事業の目的】(単位：千円)							
町立小学校7校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。 校務用パソコンは、経年劣化等による動作不良が発生し、校務に支障をきたしているため、計画的に更新することで、教職員の業務の効率化を図ります。 いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。 経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。 入学準備品を支給し、保護者負担の軽減を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●教材等整備費 1,870 千円 教育用教材 1,827 千円 その他備品等 43 千円 ●校務用パソコン更新 4,125 千円 ●いじめ対応支援事業 308 千円 アンケート検査用紙の購入 ●就学援助費・特別支援教育就学奨励費 4,585 千円 就学援助費 4,478 千円 特別支援教育就学奨励費 107 千円 ●入学準備支援事業 1,817 千円							
							
算数教材（お金模型セット）				理科教材（リトルますグループ学習セット）			
【3. 事業の成果及び課題】							
（1）事業の成果 小学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学力向上に資することができました。 校務用パソコンの更新により、教職員の業務の効率化が図られました。 児童にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。 経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。 また、入学準備品（体操服）の支給により保護者の負担軽減が図られました。 （2）今後の課題 今後、デジタル教科書の導入が増えることが考えられます。研修等により効果的な利用方法及び教職員のスキル向上を図る必要があります。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 9
事業名		小学校教材整備等教育振興事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○教材の整備により授業の充実と学力向上に貢献した。 ○デジタル教科書の導入が増えることが考えられるため、研修等により効果的な利用方法および教職員のスキル向上を図る必要がある。 ○公務用パソコンを計画的に導入しているが、運用方法についても工夫をしながら現場の教員が困らないようにしてほしい。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○就学援助費などに加え、入学支援事業として体操服が支給されたり、個人購入してきた教材の一部を共用教材として購入したりするなど、物価高騰の折、細やかな支援は評価できる。 ○いじめ対応としてアンケート検査が、いじめなどの諸問題の早期発見につながっていることは評価できる。 ○物価高騰により入学時に高額な費用負担を強いられる状況で保護者には大変ありがたい事業だと思う。継続することを望みます。 ○教材の整備は予算等の問題はあると思うが、適時されることが望ましい。 ○入学準備品の支給は高く評価する。今後も継続して実施して頂きたい。 ○いじめ対応については、人権意識の向上とともに、取り組まれることを望む。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 10
事業名	小学校施設整備事業					総務学校教育課	
予算額	24,143	決算額	24,143	財 源 内 訳			
				特定財源	24,050	一般財源	93
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 計画的に実施している校舎・体育館のLED化により、必要な教育環境の整備を図ります。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● 小学校施設整備費 24,143千円 小学校施設のLED化が主な内容です。 ・ 磯小学校体育館LED化工事 15,070千円 ・ 五箇小学校体育館LED化工事 9,073千円 ◇磯小学校体育館LED化工事  ◇五箇小学校LED化工事 							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 照明設備について、学校施設既存照明の蛍光灯・水銀灯の生産中止となっているものもあるため対応が困難な状況となっていました。LEDに改修することで児童の必要な学習環境の改善を図ることができました。 (2) 今後の課題 LED化については、小学校の体育館は全て完了しましたが、今後校舎のLED化を計画的に進めていく必要があります。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 10
事業名		小学校施設整備事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○計画的にLED化を進めていくことで、子どもたちの学習環境が良くなった。また、電気代の節減に繋がることが期待される。 ○事業自体は、年次計画により計画的に進められ、評価しているが、工事実施の際には学校運営に支障がないように取り組むことを望む。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○子どもたちの学習環境が良くなり、また、電気代の節減に繋がることが期待されるため、今後も計画的にLED化を進めていってほしい。 ○工事実施の際は学校運営に支障がないように実施することを前提に、計画的に事業を実施してほしい。 ○学校の授業はもちろん社会体育や災害時の避難場所として重要な施設なのでLED化は必要である。今後Wi-Fiや光回線の設置、空調設備も検討すべきである。 ○老朽化による雨漏りなどで危険な個所は計画的に補修が必要だと思うが、今後の学校の適正化など将来を見据えて実施すべきである。 ○計画的に整備が進められていることを評価する。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 11
事業名	中学校教材整備等教育振興事業					総務学校教育課	
予算額	12, 827	決算額	11, 515	財 源 内 訳			
				特定財源	487	一般財源	11, 028
【1. 事業の目的】(単位：千円)							
町立中学校4校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。							
校務用パソコンは、経年劣化等による動作不良が発生し、校務に支障をきたしているため、計画的に更新することで、教職員の業務の効率化を図ります。							
いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。							
経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。							
入学準備品を支給し、保護者負担の軽減を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●教材等整備費 2, 277 千円							
教育用教材 2, 199 千円							
その他備品等 301 千円							
●校務用パソコン更新 2, 196 千円							
●いじめ対応支援事業 216 千円							
アンケート検査用紙の購入							
●就学援助費・特別支援教育就学奨励費 4, 201 千円							
就学援助費 4, 168 千円							
特別支援教育就学奨励費 33 千円							
●入学準備支援事業 2, 625 千円							
							
理科教材(生物顕微鏡)				音楽教材(クラリネット)			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
中学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学力向上に資することができました。							
校務用パソコンの更新により、教職員の業務の効率化が図られました。							
生徒にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。							
経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。また、入学準備品（体操服・上靴）の支給により保護者の負担軽減が図られました。							
(2) 今後の課題							
今後、デジタル教科書の導入が増えることが考えられます。研修等により効果的な利用方法及び教職員のスキル向上を図る必要があります。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 11
事業名		中学校教材整備等教育振興事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○教材の整備により授業の充実と学力向上に貢献している。昨今の物価高騰により教材購入費の高騰も懸念されるが、教育を振興するためには重要であり、学校からの要望に今後なるべく応えられることを望む。 ○小学校同様、デジタル教科書の導入が増えることが考えられるため、研修等により効果的な利用方法および教職員のスキル向上を図る必要がある。 ○公務用パソコンを計画的に導入しているが、運用方法についても工夫をしながら現場の教員が困らないようにしてほしい。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○就学援助費などに加え、入学支援事業として体操服が支給されたり、個人購入してきた教材の一部を共用教材として購入したりするなど、物価高騰の折、細やかな支援は評価できる。 ○いじめ対応としてアンケート検査が、いじめなどの諸問題の早期発見につながっていることは評価できる。 ○教材の整備は適時実施されることを望む。 ○いじめ対応は、人権意識の向上とともに、根気強く取り組まれることを望む。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 12
事業名	中学校施設整備事業					総務学校教育課	
予算額	182,834	決算額	182,834	財 源 内 訳			
				特定財源	155,110	一般財源	27,724
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 町内中学校（4校）の普通教室のすべてで空調整備はされているが、未実施となっている特別教室の整備を行います。また、計画的に実施している校舎・体育館のLED化により、必要な教育環境の整備を図ります。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● 中学校施設整備費 182,834千円 小学校施設のLED化と空調整備が主な内容です。 ・ 五箇中学校体育館LED化工事 20,273千円 ・ 西郷中学校校舎LED化工事 25,300千円 ・ 西郷中学校空調整備工事 75,350千円 ・ 西郷南中学校空調整備工事 57,629千円 ・ 受電設備フェンス設置他 4,282千円 ◇ 五箇中学校体育館LED化工事 ◇ 西郷中学校空調整備工事 ・照明改修 ・受電設備（キュービクル） ・空調設備（エアコン） ◇ 西郷中学校校舎LED化工事 ◇ 西郷南中学校空調整備工事 ・照明改修 ・受電設備（キュービクル） ・空調設備（エアコン）							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 夏季において、学校の教室内は30℃以上になることが多く、学習環境としては十分でない状況にあります。温暖化傾向であることから熱中症対策のための冷房機を設置をすることで、生徒の安全確保及び快適な学習環境の改善を図ることができました。 また照明設備について、学校施設既存照明の蛍光灯・水銀灯の生産中止となっているものもあるため対応が困難な状況となっていました。LEDに改修することで生徒に必要な学習環境の改善を図ることができました。 (2) 今後の課題 空調整備については、中学校校舎は全て完了しました。今後は校舎のLED化を計画的に進めていく必要があります。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 12
事業名		中学校施設整備事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○温暖化傾向にあり、熱中症対策のために、全ての中学校で冷房機が整備されたことは、生徒の安全確保、快適な学習環境の整備に十分な効果があり評価する。 ○夏季においては高温により屋内運動場での運動が出来ない日が多くなっている状況にあり、子どもの安全を守るという観点からも屋内運動場の空調整備について、調査・検討を要する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○温暖化傾向にあり、熱中症対策のために、全ての中学校で冷房機が整備されたことは、生徒の安全確保、快適な学習環境の整備に十分な効果があり評価する。 ○夏季においては高温により屋内運動場での運動が出来ない日が多くなっている状況にあり、子どもの安全を守るという観点からも屋内運動場の空調整備について、調査・検討を要する。 ○学校の授業はもちろん社会体育や災害時の避難場所として重要な施設なのでLED化は必要である。今後空調設備も検討すべきである。 ○老朽化による雨漏りなどで危険な個所は計画的に補修が必要だと思うが、今後の学校の適正化など将来を見据えて実施すべきである。 ○昨今の温暖化に対応した環境整備を今後も望む。							

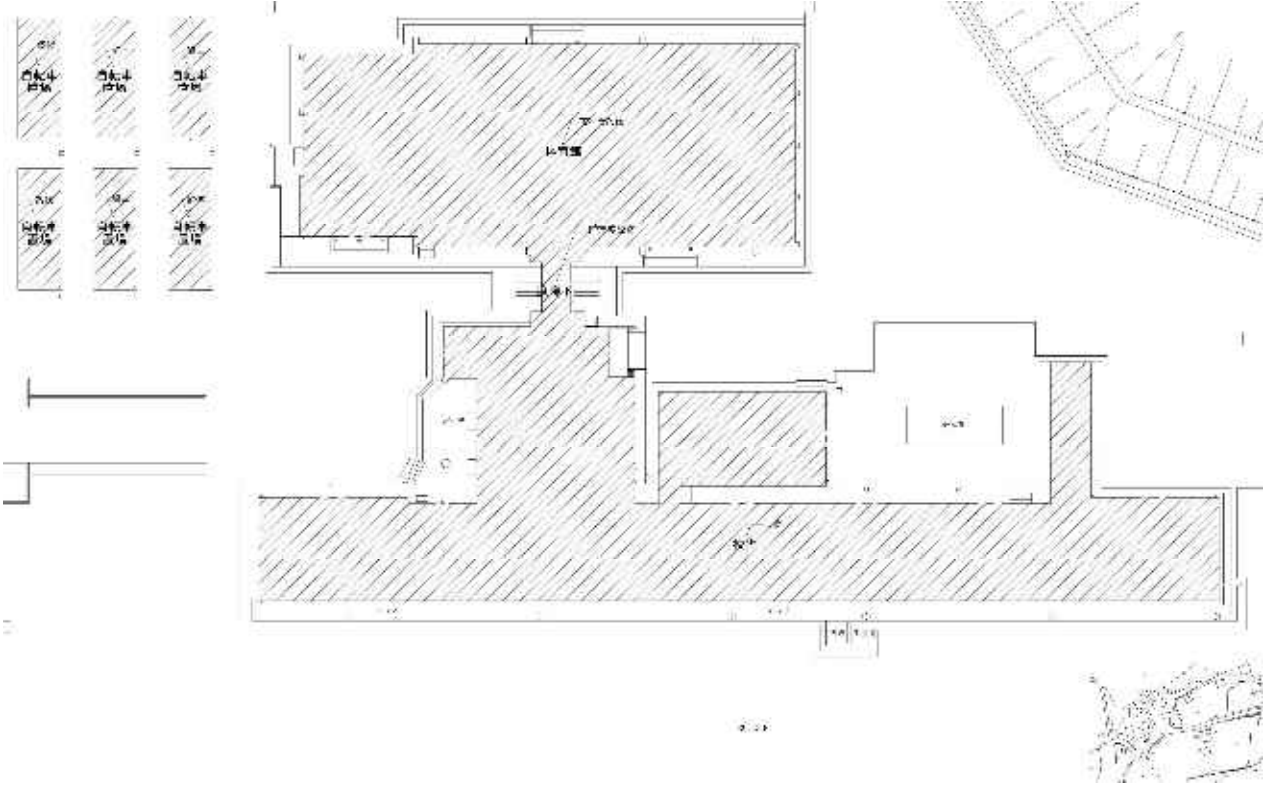
令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 13
事業名	西郷南中学校大規模改修事業					総務学校教育課	
予算額	4,598	決算額	4,371	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	4,371

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 学校施設個別施設計画（長寿命化計画）に基づき大規模改修を実施することで、生徒の安全安心で快適な教育環境を確保します。

【2. 主な事業の概要（実績）】
 ● 西郷南中学校大規模改修 4,371千円
 令和5年度で設計、令和6・7年度で工事を実施します。
 ・ 西郷南中学校大規模改修工事設計委託料 4,371千円

◇ 西郷南中学校大規模改修事業



【3. 事業の成果及び課題】
 (1) 事業の成果
 令和5年度の設計業務委託により、令和6・7年度の改修工事の入札準備ができました。

(2) 今後の課題
 令和6・7年度で工事を実施しますが、事業費が大きく、補助金を上手く活用しながら財源確保を進めていく必要があります。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 13
事業名		西郷南中学校大規模改修事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○隠岐の島町学校施設個別施設計画（学校施設長寿命化計画）に基づきながら、計画を進めていることについて評価する。 ○小中学校のあり方に関する検討委員会での検討内容にも注視しながら、今後の大規模改修について進めてほしい。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○隠岐の島町学校施設個別施設計画（学校施設長寿命化計画）に基づきながら、計画を進めていることについて評価するが、小中学校のあり方に関する検討委員会での検討内容にも注視しながら、今後の大規模改修について進めてほしい。 ○老朽化による雨漏りなどで危険な個所は計画的に改修が必要だと思うが、今後の学校の適正化など将来を見据えて実施すべきである。 ○計画的に事業が実施できていることを評価する。引き続き、計画的に事業を実施して頂きたい。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 14
事業名	学校給食調理事業					学校給食センター	
予算額	84,177	決算額	81,891	財 源 内 訳			
				特定財源	59,637	一般財源	22,254
【1. 事業の目的】 (単位：千円)							
成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供することにより、健康増進と体力増強を図るとともに、健全な心身を育むために美味しく、魅力ある給食を提供します。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
● 給食種別決算額：千円				● 提供人数：人／日			
主食（米・パン） 7,502				小学校 7校 726			
副食（その他） 60,063				中学校 4校 352			
牛乳 14,326				養護学校 1校 27			
計 81,891				給食センター 17			
				計 1,122			
● 給食提供数：食／年				● 牛乳提供数：個／年			
小学校 141,549				小学校 141,992			
中学校 67,698				中学校 68,705			
養護学校 4,657				養護学校 4,715			
給食センター 3,416				給食センター 586			
計 217,320				計 215,998			
● ふるさと給食							
地場産物を取り入れた「ふるさと給食」を月1回実施し、教材として活用しています。							
ふるさと給食のメニュー							
				地元産の米、あらめ、玉ねぎ、きゅうりを使用した あらめご飯、玉ねぎの味噌汁 きゅうりの梅和え カレーのから揚げ（島根県産）			
● 地産地消の推進							
給食センターと関係機関との情報交換会議を開催し、地場産物使用を推進します。							
令和5年度地元産野菜使用率 19.40％（令和元年度 16.80％）・米使用率 100.00％							
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
児童・生徒に栄養バランスの取れた給食を提供することができました。							
地場産物を使ったふるさと給食を実施し、地産地消の推進に寄与することができました。							
子育て支援策として給食費公費負担を実施、保護者負担軽減に資することができました。							
(2) 今後の課題							
食材費の高騰が続いていることから、安定した食材確保のため、発注やメニューの創意工夫が重要となります。また、地場産物の使用についても、必要量の安定確保に向け、各関係機関との連携を要します。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 14
事業名		学校給食調理事業				学校給食センター	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○給食費の一部公費負担を行っていることは、子育て世代の保護者にとって経済的な支援となり、負担軽減に大きくし資することとなり評価できる。公費負担していることについて周知する必要がある。 ○地産地消の取組を引き続き推進し、地元産野菜の使用率の増加に期待するのは勿論、新しいふるさと給食“とって食べる”機会等も検討してほしい。 ○物価高騰の折、栄養士の工夫だけで、同水準の給食を提供することには限界がある。仕入れについて工夫するなど、質を落とさずに、栄養のある給食を今後も提供するために検討が必要である。 ○毎日、メニューの説明文が作成されており、生産地や特徴など分かりやすく、学校からの評価は高い。魅力ある給食に大きく貢献している。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○物価高騰の折、工夫されたメニューや地産地消のふるさと給食の実施など、魅力ある給食を展開していただいている。保護者や児童生徒からの評価も高い。 ○各家庭での「食」の状況が多様化する中、栄養士と連携しながら「給食」にからめた食の教育の展開にも期待したい。 ○食育も大切な教育であり、学校も残食ゼロを心がけることを望みます。 ○給食費の公費負担の充実が必要と考える。 ○ふるさと給食の充実を今後も継続して実施して頂きたい。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 15
事業名	がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業					社会教育課	
予算額	7,121	決算額	6,322	財 源 内 訳			
				特定財源	5,000	一般財源	1,322

【事業の目的】 (単位：千円)
「離島」というハンディキャップの解消を図り、子どもたちのより活発な活動を促進していくことを目的とし、島外遠征に係る渡航費用を助成します。

【主な事業の概要（実績）】

- がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業
- ・ 交付決定者数（延べ人数）：2,477人

交付決定者数の過去3年間の推移 [単位：人]

	R3	R4	R5
小学生	815	1,056	1,364
中学生	296	490	748
指導者		241	365
合 計	1,111	1,787	2,477

交付金額総計の過去3年間の推移 [単位：円]

	R3	R4	R5
合 計	2,571,332	4,939,190	6,322,040

- ・ 補助対象
島外で開催される大会（全国規模の大会を除く。）、交流・練習試合等の島外遠征に係る渡航費

- ・ 補助金額
航路旅客運賃助成事業補助金を適用し隠岐航路（往復）運賃の実費を助成

区間	小学生	中学生・指導者等
西郷～本土間	3,020円以内	6,040円以内
西郷～島前間	1,980円以内	3,940円以内



野球チームの活動



サッカーチームの活動

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

令和4年度から指導者等の渡航費を補助対象とし、児童生徒の一層の活動機会の充実を図りました。利用人数や補助交付額は、コロナ禍後は遠征の機会も増え、増加傾向にあります。活動内容は、大会だけでなく、合同練習など、本土での活動の幅が広がっており、町内の小・中学生のより活発な体育活動や文化活動を促進することができました。

(2) 今後の課題

団体毎に遠征回数等に違いがあるため、不公平感が無いよう、事業の実施状況を確認し、状況に応じて制度の見直しを検討することが必要となっています。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 15
事業名		がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○子どもたちが幅広い経験を積み、視野を広げるためには非常に意義のある事業であると評価でき、離島であるからこそ、今後も本事業の継続実施を望む一方で、地元でも本事業で経験できるような仕組みづくりを積極的に検討してほしい。 ○スポーツ活動以外の文化・芸術活動にも適用可能であるが、認知度が低いことが懸念されるため、周知の必要性があり、その周知先・方法等について検討を要する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○交流の機会が少なく各家庭の遠征費負担も大きいなど、離島ゆえの課題がある中、当事業があることで島の子どもたちが豊かな経験を積むための一助となっており、意義がある事業であると考え。 ○島外遠征にだけでなく島内に合宿などで来島する団体にも助成を検討して頂きたい。 ○島内で大会を誘致するなど、そのための支援策も検討して頂きたい。 ○離島というハンディの中、子ども達の経験を増やしていく取組・支援策は今後も、充実・継続して頂きたい。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 16
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
予算額	3,580	決算額	3,216	財 源 内 訳			
				特定財源	2,143	一般財源	1,073

【事業の目的】 (単位：千円)
地域と学校と家庭が連携・協働して、子どもたちの社会性や自主性、創造性等の豊かな人間性を育てます。

【主な事業の概要（実績）】

●結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業

運営委員会（委員報償費・費用弁償等）	10 千円
放課後子ども教室	2,319 千円
放課後サポーターを配置し放課後の子どもの居場所の確保	
学校支援事業	866 千円
地域人材活用による学校支援	
家庭教育支援事業	21 千円
小中学校入学前に「親学プログラム」を実施	

令和5年度 放課後子ども教室実施状況

地 区	教 室 名	開催日	開 催 場 所	開催日数	参加児童 (延べ人数)	安全管理員 (登録人数)	登録 児童数
西郷	いきいき子ども教室	月	総合体育館	28	427	6	53
中条	中条遊びランド	月	中条小学校	27	1,278	6	60
有木	まにの広場	月・金	有木小学校	59	742	4	21
磯	にこにこ広場	火	磯小学校	33	481	4	19
北	きたっこ広場	月	北小学校・布施公民館	34	299	15	13
五箇	学センわくわく広場	月・水	五箇生涯学習センター	38	624	3	31
都万	遊びと学びの広場	月・木	都万小学校・都万公民館	37	892	6	38
合 計				256	4,743	44	235

【活動写真】

※登録人数は、令和5年度最終日時点のもの



北小放課後子ども教室
(川の生き物さがし探検)



中条小親学プログラム

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

地域・学校・家庭の連携協働を図り、地域総がかりで子ども達を育成する教育環境の構築を図っています。放課後子ども教室では、地域のサポーターを活用し、子どもたちが放課後に学習や体験活動を行うなど安心・安全に過ごせる居場所づくりとして成果をあげています。また、学校支援事業では、地域コーディネーター、学校サポーターによる学校支援により教育活動の推進が図られました。

(2) 今後の課題

地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む事業を推進するため、子どもの体験活動における指導者や放課後サポーター等地域人材の確保と育成を行うなど推進体制の充実が必要となっています。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 16
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○地域の協力を得ながら実施し、一定の参加者数を確保した。 ○放課後子ども教室を今後も継続して実施していくには、指導者や地域人材の確保と育成が必要である。 ○放課後子ども教室の安全管理員が従事しやすい環境づくりのために、教育委員会・学校・安全管理員の連絡会により引き続き連携を密にして取り組んでいくことを期待する。 ○公民館事業との関係に整理を要する部分もある。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○「地域総がかり」で子どもたちを育成する環境はまさに理想。地域、学校、家庭、の力を「結集」して当事業の推進体制の充実を図っていただきたい。 ○当事業においても、人材育成と確保が課題となる。活動内容にもよるが、高校生や民間の力を巻き込むことも検討していただきたい。 ○子ども教室は共働きの多い現状で、地域の人と触れ合いながら学ぶことができる良い事業だと評価する。子どもたちの遊びがデジタル中心なってる中で、アナログな遊びや体験を引き続き継続して頂きたい。 ○人材確保が、事業の継続・発展のため不可欠である。 ○障がいのある子どもたちも参加できる条件の整備を望む。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育施設費	所管課	No. 17
事業名	隠岐島文化会館管理運営事業					社会教育課	
予算額	24,321	決算額	23,824	財 源 内 訳			
				特定財源	10	一般財源	23,814

【事業の目的】 (単位：千円)
 隠岐島文化会館を適正に管理運営し、多様で質の高い町民の芸術文化活動の環境をつくります。

【主な事業の概要（実績）】

●指定管理料 20,847 千円
 隠岐島文化会館の管理運営を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。

《施設の利用状況》 [単位：人]

年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
延べ人数	33,926	30,479	19,769	18,537	23,644	27,614

指定管理者による主な実施事業 (隠岐の島町教育文化振興財団)

○鑑賞事業

- ・映画上映 (2作品 延9回) 入場者数：延べ539人
- ・サイエンスコンサート 入場者数：880人
 (幼児・小学生向け事業)

○育成事業

- ・青少年人材育成事業
 大ホール事業に対するボランティアスタッフの育成

○芸術文化支援事業

- ・芸術文化支援事業
 大ホールを利用した事業の支援 (29回)

○地域活性化事業

- ・おきゼミ (講演会1回)
- ・文芸隠岐発刊事業
- ・文化祭/文化グループ発表会
- ・町民なんでも発表会
- ・夏、冬休み体験事業
- ・島根県公立文化施設協力事業(1回) 入場者数：371人
 (神田伯山独演会)
- ・定期利用活性化事業

○展示・文化情報提供事業

- 気中開閉器更新工事 1,375 千円
- 駐車場注意喚起等設置工事 1,155 千円
- 修繕費 (中庭雨水配管修繕等) 447 千円

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 コロナ禍により、利用者が減少しておりましたが、サイエンスコンサート等の子ども向け事業を実施するなど、指定管理者の創意工夫により、利用者も増加傾向にあります。本町の芸術・文化の核となる施設として、町民から利活用されています。

(2) 今後の課題
 昭和59年に建設され、築約40年を迎える施設であるため経年劣化及び機材の更新等の課題があります。長寿命化計画に基づき、計画的な対応が必要となっています。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育施設費	所管課	No. 17
事業名		隠岐島文化会館管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○老朽化した設備の計画的な改修が必要である。 ○指定管理者の隠岐の島町文化振興財団が工夫をこらして魅力的な事業を展開していることを評価する。 ○今後も町民のニーズに合った事業が計画され、内容がますます充実することに期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○様々な年齢を対象とした企画が多く実施されており、町民の文化活動の拠点として、また、当町の文化芸術活動の普及や推進において、非常に大きな役割を担っている。 ○駐車場が広くなり、屋外での活動も実施しやすくなり活用の幅も広がった。また、図書館とともに、道路から見渡せるようになり魅力的な景観となっている。 ○施設においては老朽化が進んできているようなので、利用に影響が出ないように計画的に改修していただきたい。 ○年間を通して多くのイベントを計画・実行され、多くの島民が利用できていると思う。多様な世代が集えるコミュニティの場として使用されることを期待する。 ○利用者が年々増えていることは評価できる。 ○文化活動の普及や推進のため大切な施設である。計画的な改修が必要と考える。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 18
事業名	保健体育活動推進事業					社会教育課	
予算額	7,209	決算額	6,773	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	6,773
【事業の目的】							(単位：千円)
社会体育活動の推進、活性化を図るため、関係団体への補助金交付等の支援を行います。							
【主な事業の概要（実績）】							
●隠岐の島町体育協会補助金				4,426 千円			
13競技、4地区体協へ補助金交付							
●大相撲八角部屋合宿補助金				1,129 千円			
●つなG0隠岐の島実施事業委託料				640 千円			
●隠岐郡陸上競技協会法令外負担金				447 千円			
●隠岐の島町スポーツ少年団活動費補助金				70 千円			
●スポーツ推進委員負担金				61 千円			
[隠岐の島町体育協会活動写真]							
							
全隠岐柔道選手権大会				隠岐の島町バスケットボール大会			
							
全隠岐駅伝競走大会				つなG0隠岐の島			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
隠岐の島町体育協会補助金交付により、町内スポーツ競技団体による大会の他、各地区体協の活動が実施されました。コロナ禍での活動低迷による参加者不足のため、一部競技が中止となった大会もありましたが、町民のスポーツ活動の推進が図られました。							
(2) 今後の課題							
「各種スポーツ大会の開催にあたり」、各競技団体と連携して参加競技者の増加に向けた取り組みが必要です。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 18
事業名		保健体育活動推進事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○体育協会活動がマンネリ化してきたり、各競技の指導者が高齢化してきたりと、課題が様々あると思われる。補助金を支出するだけでなく、体育協会の事務移管した現在も各競技団体の自立性が高められるよう各スポーツ振興が図られることを期待する。 ○つなGO 隠岐の島実施事業は社会体育の振興に効果的であるため、今後も競技団体との連携を強化し、参加者の増加に取り組む必要がある。 ○他部署で実施される事業（ウルトラマラソン等）と、連携した事業づくりなど行政の横つながりに期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○つなGO 隠岐の島実施事業では、一線で活躍している選手などに実際に会うことができることで、子どもたちの意欲を高めるためにも効果的。更なる充実を願う。 ○プロスポーツチームや実業団チームの試合があまり見られなくなっているが、多世代が見て楽しむ、向上心を持つことの大切さが学べる事業であり評価する。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 19
事業名	総合運動公園管理運営事業					社会教育課	
予算額	26,059	決算額	25,994	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	25,994

【事業の目的】 (単位：千円)
総合運動公園及び総合体育館を適正に管理運営し、町民の健康増進、スポーツの活性化を図るための環境をつくります。

【主な事業の概要（実績）】

●指定管理料 25,665 千円
総合運動公園及び総合体育館の管理運営を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。

《施設の利用状況》

隠岐の島町総合運動公園 [単位：人]

年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
延べ人数	5,150	3,890	4,301	4,616	5,682	8,303

隠岐の島町総合体育館 [単位：人]

年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
延べ人数	34,224	30,569	24,850	29,858	19,446	30,406

指定管理者による主な実施事業 (隠岐の島町教育文化振興財団)

○スポーツ・体育活動支援事業
・レインボーアリーナ杯（スポンジテニス・ソフトバレーボール大会開催）

○地域活性化事業
・スポーツ教室（7種目10教室） 参加者数：延べ3,889人
・夏・冬休み複合型子ども教室 参加者数：108人
・開放事業レインボーアリーナの日 参加者数：120人
・ニュースポーツ体験会（1地区） 参加者数：31人
（カローリング、ラダーゲッター）



開放事業レインボーアリーナの日

●備品購入費（デジタイマー） 311 千円

●管理運営委員会開催費 18 千円

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果
本町の社会体育、生涯スポーツの拠点施設として様々な団体に利活用されています。さらに、指定管理者による様々な体験教室なども実施され、コロナ禍前の状態に戻ってきています。

（2）今後の課題
築20年の施設であり、館内設備機器は耐用年数を10年以上経過しているものも多いため、計画的な修繕及び改修が必要です。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 19
事業名		総合運動公園管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○利用者数がコロナ前の水準に戻り、施設の修繕や備品の更新が行われた。 ○可動席が故障により使用できない状況にある。修理すれば、体育施設としての活用だけではなく、文化振興にも活用できるため、老朽化した設備の計画的な改修が必要である。 ○利用希望者のW e b 予約や予約状況の確認について、利用者の利便性向上のため引き続きの検討に期待する。 ○保健体育推進事業同様、プロスポーツチームや実業団チームの試合があまり見られなくなっているが、多世代が見て楽しむ、向上心を持つことの大切さが学べるじぎょうであり評価する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○当町におけるスポーツの拠点、活動の場所として、様々な団体、個人の多くの利用があり親しまれる場となっている。指定管理者による事業も様々な開催されていることも高く評価できる。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 20
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
予算額	22, 277	決算額	21, 973	財 源 内 訳			
				特定財源	3, 724	一般財源	18, 249
【事業の目的】 (単位：千円)							
屋内温水プールを適正に管理運営し、体育及びレクリエーションの普及並びにその振興を図り、町民の健康増進を図ります。							
【主な事業の概要（実績）】							
●指定管理料				14, 363 千円			
隠岐の島町屋内温水プールの管理運営を指定管理者である(株)M I しまねが行いました。							
《施設の利用状況》				〔単位：人〕			
年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
ビジター利用	4, 492	4, 570	2, 672	3, 181	3, 361	4, 623	
会員利用	35, 591	35, 821	29, 979	33, 939	32, 407	36, 423	
教育機関利用	1, 466	1, 455	1, 170	962	1, 680	1, 882	
その他利用	913	1, 152	457	576	483	396	
合計	42, 462	42, 998	34, 278	38, 658	37, 931	43, 324	
指定管理者による主な実施事業 (MIしまね) ○利用者拡大事業 ・スポーツクラブレッスン ごきげん全身体操、おまかせ水中運動、全身ストレッチ、やさしい水泳教室等、寝たまま簡単ゆらぎ体操 ・ジュニアレッスン 幼児期からの水泳教室 ・水泳競技大会参加 水泳競技の全国大会や島根県大会に向けた競技力向上指導及び大会への参加支援 ●備品購入費（プールフロア更新） 3, 564 千円 ●工事費 ・ホール高天井照明LED化工事 1, 727 千円 ・屋外キュービクル更新工事 1, 540 千円 ●設計費（温水一次配管更新工事設計業務） 499 千円 ●修繕費（プールクリーナー） 234 千円 ●管理運営委員会開催費（2回） 46 千円							
 寝たまま簡単 ゆらぎ体操							
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
本町の健康増進の中核施設のひとつとして幅広い年齢層に活用されています。コロナ禍により、利用者が減少していましたが、指定管理者の創意工夫によるスタジオを活用した独自事業等により、利用者数は過去最高を記録しました。また、設備改修により安全で快適な施設環境を利用者に提供することができました。							
(2) 今後の課題							
大規模な修繕については概ね目処がたちましたが、小規模修繕の必要がある箇所が多くなっています。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 20
事業名		温水プール管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○利用者数がコロナ前の水準に戻り、施設の修繕や備品の更新が行われた。 ○老朽化した設備の計画的な改修が必要である。 ○学校の水泳事業の受入れについてどの学校も平等に利用できるように日程調整を行い、レーンを分ける、休館日に行うなど一般利用者に配慮した対応を行っており、指定管理者の(株)MIしまねの工夫・努力を高く評価する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○様々な年齢層に、様々な目的で活用され、島になくてはならない施設のひとつとなっている。プール、スタジオともに、創意工夫された企画がなされており利用者也増加していることは高く評価できる。 ○利用者も多く有効的に使用され評価できる。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 21
事業名	図書館管理運営事業					社会教育課	
予算額	35,187	決算額	33,946	財 源 内 訳			
				特定財源	2,054	一般財源	31,892
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 住民の知る権利や学習の権利を保障する学びの場として、図書館機能の充実を目指します。生涯学習の拠点施設として、資料の充実に努めるとともに、学校や公民館など関係機関と連携を図り、住民の読書環境の整備を進めていきます。隠岐の島町図書館振興計画の数値目標に基づき、蔵書等の整備を進めます。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●図書館資料費 6,969千円 [資料費内訳] 書籍、雑誌、新聞 5,687千円 - 視聴覚資料(CD、DVD) 1,282千円 ●図書館運営委員会開催費 135千円 - 運営委員会の開催（6/15, 8/29, 12/15）委員10名 ●図書館管理運営費 26,842千円 - 会計年度任用職員人件費 13,834千円 - 図書システム関連経費（リース、保守点検、システム使用） 3,885千円 - 施設維持管理各種業務委託費（空調、電気、消防、警備、清掃） 2,921千円 - 光熱水費、燃料費（電気、水道、ガス、ペレット等） 4,248千円 - 消耗品費（図書館資料用、事務用、衛生用） 632千円 - 図書データ抽出手数料等 468千円 - その他事務経費等 854千円 ・年間入館者数 52,818人（前年比+6,453人） ・年間貸出冊数 57,857冊（前年比+1,616冊）							
   あさとしょ(民間事業者とのコラボ) としょかんキネマ 北井一夫写真展「隠岐の島」							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 コロナ禍で減少した入館者及び資料貸出冊数は、令和5年度に多くの事業や展示企画等を実施し情報発信したこと等により増加に転じました。本に親しむのみならず、誰もが快適に過ごすことができる居場所としての空間づくりにも努めました。「隠岐の島町図書館振興計画」の進捗状況の検証に係る利用者満足度アンケートを行ったところ、大半の項目で目標値を達成しており、回答者の内89%の方に満足いただいているという結果となりました。 (2) 今後の課題 利用者満足度アンケートによると、「自宅からの距離や交通の便」は満足度が5%減少し、雑誌の満足度に次いで2番目に満足度の減少割合が大きい項目となりました。町内での高齢化率の上昇に伴い、免許返納などにより図書館へ来館が困難な方も多いためと考えられます。読書環境の保障の観点からも対策が必要です。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 21
事業名		図書館管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○著名人の写真展やイベントの開催により、入館者数と貸出冊数が増加するなど、工夫を凝らした活動を行っており、入館したくなる取組について評価する。 ○落ち着いた温かい雰囲気づくりに努め、静かで快適な図書館運営がされており評価するとともに引き続き適切な管理運営に努めてほしい。 ○高齢化による来館困難者への対応が必要である。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○「足を運びたい図書館」ということで、工夫された展示、イベントなど、町民のニーズに沿った催しが素晴らしい。（島内外から足を運ぶ方が多数あった北井一夫展など） ○学校図書との連携を深めながら、「本との出会い」を、子ども達や町民が楽しめるよう益々の工夫に期待する。 ○島内の一般家庭に眠る古い資料（古文書・映像・写真・ちらしや過去の町報などの町の歴史が分かるものなど）、現存のものを掘り起こし集積していくといいのではないか。 ○島内の書店の減少やネット利用が多くなる中で、書籍を簡単に選び読める環境は多世代の島民に必要だと思う。単に図書機能だけでなくイベントや展示会などで利用、来館してもらう努力が見られ評価する。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 22
事業名	文化財保存継承事業					社会教育課	
予算額	39,709	決算額	38,088	財 源 内 訳			
				特定財源	28,429	一般財源	9,659
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 文化財の保存及び活用のために必要な措置を講じることにより、町民の郷土に対する認識を深め、文化の向上に資することを目的とします。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●都万目の民家保存修理工事（前払のみでR6へ繰越） 21,472千円 島根県指定有形民俗文化財である都万目の民家の保存修理に着手しました。 ●牛突き習俗保存対策事業 6,779千円 ・突き牛導入費補助金（16件） 5,129千円 （導入費の2/3、上限なし） ・突き牛処分費補助金（15件） 1,050千円 （処分1頭につき、7万円） ・大会出場費補助金（60件） 600千円 （出場牛1頭につき、1万円） ●史跡隠岐国分寺保存活用計画策定事業 3,609千円 史跡隠岐国分寺境内の保存活用計画を策定するため、策定委員会を3回開催し計画書を刊行しました。 ●無形民俗文化財補助金交付事業 3,283千円 町内の指定無形民俗文化財保持団体に年間活動費のうち対象経費の1/2を補助しました。 （交付実績：18団体中13団体） ●神馬導入促進事業 1,132千円 文化財の公開に使用される馬の導入費を補助しました（3件）。 ●「隠岐の文化財」発刊事業 813千円 隠岐4町村の教育委員会合同で「隠岐の文化財」第41号を発刊しました。 ●指定文化財説明看板設置事業 798千円 町内指定文化財の説明看板を計画的に新設・更新します（英語解説併記）。 【令和5年度に看板の新設・更新を行った文化財】 周吉外三郡役所庁舎、甲ノ原2号墳、春日神社のクロマツ群、布施の山祭り・大山神社のスギとケヤキ ●国府尾城活用整備事業 202千円 国府尾城を現地調査し活用整備についての検討を行い、活用整備の検討にかかる報告書を刊行しました。また、山城に関する講演会や現地説明会を開催しました。							
【3. 事業の成果及び課題】 （1）事業の成果 令和5年度は、山城講演会や現地説明会を開催し、また民間主催の文化財活用事業の支援をするなど、多くの文化財普及啓発事業に取り組むことができました。引き続き普及啓発事業に取り組み、町民の皆さんに文化財に触れていただける機会を提供したいと思います。 （2）今後の課題 文化財の収蔵に関して、現在使用している今津総合学習センターは文化財の保存に適した収蔵施設ではなく、また近年収蔵物の量も増え手狭になってきていることから、収蔵庫の在り方・規模について、将来を見据えて検討していきます。							



国府尾城跡現地説明会の様子

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 22
事業名		文化財保存継承事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○都万目の民家修理、無形民俗文化財への補助金交付されるなど、無形民俗文化財補助金は地域の民俗や地域特有の文化継承にとって必要なことであり評価され、今後の事業継続を望む。 ○一方で無形民俗文化財の後継者不足は喫緊の課題であり、それぞれで工夫は見られるものの保存継承のために補助金交付だけではなく効果的な施策の検討を要する。 ○貴重な文化財が確認されていることもあり、温湿度管理などができる適切な収蔵庫の確保が必要である。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○民間の文化財活用事業も回を重ねながら工夫して活動を継続されており意識の高まりを感じる。引き続きの支援を望む。 ○牛突きは、少ないながらも若手が多世代が楽しめるように工夫しながら大会を開催するなど、関係団体の活動を評価する。 ○国府尾城の事業について山城は全国的にファンが多く、観光資源になり、調査や整備を進めることを検討して頂きたい。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 23
事業名	佐々木家住宅管理運営事業					社会教育課	
予算額	3,412	決算額	3,378	財 源 内 訳			
				特定財源	444	一般財源	2,934
【1. 事業の目的】(単位：千円)							
国指定重要文化財建造物佐々木家住宅を適正に保存管理し、且つ有効活用を図り、町民等の文化的向上に資することを目的とします。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●管理運営事業				3,323千円			
年間通して公開(12～3月は休館)しました。							
・管理清掃費(275日)受託者：3名				1,958千円			
・光熱水費・設備維持費 他				1,365千円			
年間入館者数：1,462人(前年比+1,081人)							
年間入館料：443千円(前年比+328千円)							
●活用事業				55千円			
佐々木家住宅について周知を行うため、東郷高倉会・今津神楽保存会による神楽(周吉神楽)公演を行いました(来場者約70人)							
							
演目：一番立て(東郷・今津神楽)				演目：はらいた(東郷・今津神楽)			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
佐々木家住宅を知ってもらうために、イベントを企画し認知度向上を目指しました。入館者数の大幅増加や認知度の飛躍的な伸びにはつながっていませんが、古民家で行うイベントは好評を得ています。							
(2) 今後の課題							
これまでは文化的イベントを企画してきましたが、文化財関係者および観光関係機関と連携しながら定期的なイベントや様々なジャンルのイベントを行い、指定文化財建造物の新たな活用方法を模索していきたいと思います。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 23
事業名		佐々木家住宅管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○入館者数が増加し、活用のためのイベントが開催された。 ○新たな活用方法を検討し、より多くの来館者を呼び込む必要がある。 ○住宅を見るだけでは再訪者は期待できにくく、喫茶や季節ごとの食事の提供など付加価値が必要であり、目玉となる取組の検討を要する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○教材としても、観光資源としても、大きな価値をもつ建物あり、引き続き適切な保存と管理が必要である。 ○佐々木家住宅におけるイベント企画と開催は、当該建築物だけでなく島の文化財にも興味をもつきっかけにもなる。これまでの活用の在り方にこだわらず、様々な企画が立ち上がることを期待する。 ○子どもたちに文化財を学び興味を持ってもらう教育が必要である。次世代の担い手を育成しながら保存、継承を実施して頂きたい。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 24
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-					中央公民館	
予算額	1,206	決算額	1,160	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	1,160

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●西郷文化祭 決算額 21千円



・4年ぶりとなる大屋台村を同時に行い、西郷文化祭を教育文化振興財団との協働で開催した。

●まちづくり活動推進費 決算額 815千円



・隠岐の島町まちづくり運動協議会へ活動費を支援しました。
 ・生活環境・ひとづくりの2部会で活動をしています。

関係団体によるパネル展示やエコ活動、古い布切れを利用した小物作り、フリーマーケットなど行い、環境問題を考える良い機会となった。

●中央公民館活動費 決算額 88千円
 (夏休み子ども工作教室)



・青少年、家庭教育など各方面の講座や事業を実施しました。
 ・初めての試みで、「生け花」「書道」「お茶」「陶芸」「料理」自ら選び学ぶ夏休み体験教室を行った。その他、「英会話教室」「犬のお手入れ講座」「健康教室」などを行った。高齢者学級「あけぼの教室」については、年間10回開催した。
 ・放課後子ども教室は、公民館が西郷小学校、磯小学校を担当し、実施しました。

(英会話教室)



(あけぼの教室)



(放課後子ども教室)



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 公民館講座開催に向け、アンケート等を活用し、住民のニーズに合った講座開催に心掛けました。中でも反響の多かった、英会話教室、初めての試みで行った、夏休み体験教室や犬のお手入れ講座などを開催しました。又、高齢者学級「あけぼの教室」「放課後子ども教室」は、年間を通して活動ができました。

(2) 今後の課題
 高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 24
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-					中央公民館	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○夏休みの体験活動は子どもたちだけで参加できるよう工夫されていた。保護者の共働きの増加している中で、このような機会は大変ニーズがあるように思うので、評価できる。 ○高齢者の生きがいづくりの為の事業も大変重要である。 ○働く世代、30歳代から40歳代が集まらないのが、課題であるので工夫が必要である。 ○社会教育推進のために公民館の役割は非常に重要であり、地区公民館だけでなく地域にある分館の公民館事業の活性化のために中央公民館の機能を充実させる体制や仕組、取組について検討を要する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○町民のニーズに沿って、内容をよく工夫された企画が増えていることは素晴らしい。子どもの居場所づくりにも大きく寄与している。 ○猛暑により、長く続いてきたアドベンチャー教室などの実施が難しくなってきたのは残念。開催時期などを工夫しながら、隠岐の自然の中で人と関わりながら思い切り楽しむ体験を企画することで、ふるさと学習、ジオ学習にもつながると思う。 ○公民館活動振興事業全般に共通して言えるが、猛暑で外遊びが減少している現状で子どもたちの夏休みの過ごし方は以前と変わってきている。島内に安全に子供だけで過ごせる施設は少なく今後の課題である。その中で中央や各公民館の事業、活動は地域の特性を生かしたり地域住民との交流に繋げたりなど大切な学びの場になることを期待します。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 25
事業名	公民館活動振興事業(2/4) -布施公民館-					布施公民館	
予算額	371	決算額	312	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	312
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● 布施地区館活動費 決算額 173 千円 - 各種講座・各教室、その他活動を行いました。新しく人づくり事業として布施体験クラブの地域団体発足に支援しました。 - 学校支援地域本部事業、放課後こども教室など、公民館が実働となって実施しました。    裱着付け教室 移動ラジオ体操 立志式 ● まちづくり活動推進費 決算額 48 千円 - まちづくり活動推進に寄与する花いっぱい運動への助成を行いました。    花いっぱい運動 布施の手作り文化祭準備 布施手づくり作品展 ● ふるさと自然体験活動費 決算額 91 千円 - 地域のボランティアの方と北小学校のサマー合宿へ活動支援を行いました。    地区で実施されている夜回り体験 水平線から昇る日の出 布施の山登りを体験 【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 各種講座・教室については、積極的に開催することができ、住民の方の参加もコロナ禍以前と同じように参加していただきました。また、新規事業のひとつについて実施し、20名の方が参加活動し地域との連携が図れました。手づくり文化祭では浄土ヶ浦祭と地域おこし協力隊が行う小さな美術館と同時開催され、布施手づくり作品展に各種団体の作品を展示することで地域からの情報発信を行うことができました。特に、地域の方が自主的に作品を作っていただく等今までにない活動もみられ活気があふれました。北小のサマー合宿については、学校・地域の方々のご協力により、布施地域での活動を行い児童の郷土愛の醸成を図ることで地域の活性化にも寄与することができました。 (2) 今後の課題 高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 25
事業名	公民館活動振興事業(2/4) -布施公民館-					布施公民館	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
○Iターンの定住者もいたり、地域づくりを上手に行っている。結果、地域の人が集まり、活動が活発化している。 ○小さい地区ながら、若者の活動に支援をしていることを評価できる。継続して活動してい欲しい。 ○職員も2名体制から3名体制になったことで、活動の幅が広がった。 ○サマースクールを布施で開催していることも、学校統廃合した地域からしたら大事にしたい取り組みである。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○布施地区で行われている立志式は、子どもたちにとって、ふるさと（隠岐・布施）への思いを今一度確かめる機会にもなっている。長年継続して実施されていることを評価するとともに、今後も継続されることを望む。 ○布施で実施されるサマースクール（北小）、地域おこし協力隊員が企画した旧布施小中学校活用の美術展など、地域資源を活用した活動がダイナミックに行われており素晴らしい。 ○公民館活動振興事業全般に共通して言えるが、猛暑で外遊びが減少している現状で子どもたちの夏休みの過ごし方は以前と変わってきている。島内に安全に子供だけで過ごせる施設は少なく今後の課題である。その中で中央や各公民館の事業、活動は地域の特性を生かしたり地域住民との交流に繋げたりなど大切な学びの場になることを期待します。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 26
事業名	公民館活動振興事業(3/4) -五箇公民館-					五箇生涯学習センター	
予算額	607	決算額	494	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	494

【事業の目的】

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【主な事業の概要（実績）】

●まちづくり活動推進費（冬期体力づくり教室）

決算額 330 千円



・第56回冬期体力づくり教室（寒稽古）では、「冬の体力づくりを通して心と体を鍛えよう」を目標に実施し、心と体を鍛え、健康な体作り、元気なあいさつの向上に努めました。日程が通常通り7日間の開催で実施され、約116名の関係者が集まり、寒稽古に励みました。

期間：令和6年1月14日、1月20日 早朝

種目：ジョギング、柔道、剣道、卓球、ソフトバレー、サッカーなど

●幸齢者ふるさと学園活動費（そば打ち体験）

決算額 100 千円



・高齢者講座は、幸齢者ふるさと学園と題し、実行委員会方式で計画、実施しました。
・町内在住の60歳以上の方対象に6回の教室を開催しました。「ジオパークスポット巡り 勝山城他」については隠岐の歴史を再認識することが出来ました。秋の紅葉の時期でもあり相互の交流が図られました。

●公民館活動費（ハンドマッサージ体験）

決算額 64 千円



・各種公民館講座（ラッピング・プログラミング・英会話他）を開催した。又、毎年、図書の購入を行い、住民の読書環境を整えるように努めた。



ラッピング講座



英会話教室



五箇桜水仙ウォーク

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

高齢者事業は、高齢者自身が計画した事業を実施しました。どんと祭りでは、様々な団体に舞台披露や、作品展示等を協力して頂き来年も実施できるよう働きかけをしていきたい。図書活動では、町立図書館と連携し、県立図書の配本を図書室と五箇診療所及び久見診療所に配置し、利用される方の利便性向上を図っています。

（2）今後の課題

高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 26
事業名	公民館活動振興事業(3/4) -五箇公民館-					五箇生涯学習センター	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 ○冬期体力づくり教室（寒稽古）は、コロナ禍を経て活動が戻ってきている。種目も豊富にあり選択肢が充実している。 ○昨年同様、高齢者講座（幸齢者ふるさと学園）は対象を五箇地域在住の方に限定することなく、町内在住者としており、町全体を対象とした点について評価するとともに活動の充実に期待する。 ○ハンドマッサージ体験やラッピング講座など、事業を工夫して実施している。公民館事業がマンネリ化しないために大切なことである。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○長い歴史がある冬季体力づくりの実施は、健康増進はもとより、地区のつながりづくりや地域への愛着を高めることにも寄与しており、高く評価される。課題もあると思うが、継続しての実施を強く望む。 ○公民館活動振興事業全般に共通して言えるが、猛暑で外遊びが減少している現状で子どもたちの夏休みの過ごし方は以前と変わってきている。島内に安全に子供だけで過ごせる施設は少なく今後の課題である。その中で中央や各公民館の事業、活動は地域の特性を生かしたり地域住民との交流に繋げたりなど大切な学びの場になることを期待します。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 27
事業名	公民館活動振興事業(4/4) -都万公民館-					都万公民館	
予算額	1,358	決算額	1,273	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	1,273
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●都万青少年育成事業 ●都万公民館活動費 決算額 65 千円 決算額 1,208 千円  公民館講座（プログラミング教室）  体験教室（プラモデル工作教室）  体験教室（竹細工教室）  高齢者教室（笑福館グランドゴルフ）  高齢者教室 笑福館（八十八ヶ所巡り）  青少年育成会議（生きるという事）  協働のまちづくり事業 (都万小学校デーキャンプ)  協働のまちづくり事業 (都万中学校デーキャンプ) 【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 ・都万高齢者教室「都万笑福館」では、元気な高齢者が集う良い機会の提供ができました。今後も継続する予定です。 ・公民館講座では地域で活動するグループと連携し、「プログラミング教室」や「プラモデル工作教室」などの体験教室を行いました。人気のあまり申込者のキャンセルを余儀なくされる状況となったため、募集人数について再検討する必要があります。 ・協働のまちづくり事業の採択を受け都万小学校、都万中学校のデーキャンプを行いました。 (2) 今後の課題 高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。							

令和5年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 27
事業名		公民館活動振興事業(4/4) -都万公民館-				都万公民館	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○学校と公民館が連携することで小・中学校デイキャンプが実施できる。今後も継続して実施して頂きたい。 ○中央公民館では活動しにくいことを上手に活動している。 ○公民館は住民にとって最も身近な学習拠点であるとともに、地域の交流拠点の場として重要な役割を果たす必要があり、今後も取り組みが充実されることに期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○公民館は住民にとって最も身近な学習拠点であるとともに、地域の交流拠点の場として重要な役割を果たす必要があり、今後も取り組みが充実されることに期待する。 ○中央公民館では実施しがたい活動を、学校と公民館が連携することで実施できることがある。小中学校デイキャンプ等、今後も継続して実施して頂きたい。 ○公民館活動振興事業全般に共通して言えるが、猛暑で外遊びが減少している現状で子どもたちの夏休みの過ごし方は以前と変わってきている。島内に安全に子供だけで過ごせる施設は少なく今後の課題である。その中で中央や各公民館の事業、活動は地域の特性を生かしたり地域住民との交流に繋げたりなど大切な学びの場になることを期待します。							